

2025年3月21日 第3505回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 高橋 会長

<斉唱> 「それこそロータリー」

<ビジター紹介> *横須賀西ロータリークラブ 和田 光弘 様

<会長報告> *第9回理事役員会報告

*ガバナー事務所から

- ・2025学年度新規米山奨学生及び継続学生のためのオリエンテーション開催のご案内

開催日時：4月13日(日) 13:00～13:30 受付・登録

13:30～14:00 クラブカウンセラーとの初顔合わせ

14:00～16:00 オリエンテーション

16:30～18:30 奨学生との懇親会

場 所：第一相澤ビル 6F「受付・登録」 8F：全体会議

- ・現/次合同インターアクト委員会・インターアクト運営委員会開催のご案内

開催日：4月12日(土) 15:30～現・次合同インターアクト委員会

16:30～インターアクト運営委員会

場 所：第一相澤ビル 8F「会議室」

<退会挨拶> *寺田 会員

<幹事報告> *例会後第3回被選理事役員会 開催

<出席報告> *出席委員会 角井副委員長から3月21日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
115名	106名	67名(2名)	39名	5名	67.92%

メイクアップ：岩崎、勝見、小林(一)、萩原、前田 各会員 クリーン作戦参加

<ニコニコ報告>

- ・和田 光弘 様 (横須賀西RC) お久しぶりです。
- ・三 役 横須賀西ロータリークラブ和田光弘様、ようこそいらっしゃいました。10,000メートルプロムナードクリーン作戦の写真有難うございました。
- ・田 邊、谷 両会員 横須賀西ロータリークラブ和田光弘様、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。
- ・吉田 会員 入会月祝いとして
- ・三 役 本日の情報集会はネパール給水事業の経過報告です。先日の視察で現地状況も山下エレクトより聞け支援への理解もより深まると思います。宜しくお願いします。
- ・岡田(働)ラーニング委員方、加藤(働)国際奉仕委員長、山下会長エレクト 本日の第2回情報集会で説明、報告いたします。今後につながる事業になるよう皆さんと考えていきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。
- ・木村、児玉、岡田(働)、大石、大野(働)、椿、梁井、井上、小林(働)、松本(働)、八巻、鈴木(働)、徳永、江口、高橋、杉浦、江沢、谷、長尾、鈴木(働)、荻山、齋藤(働)、小澤、久保田、小佐野、森、藤村、濱田、田邊、八木、澤田、杵淵、小山(働) 各会員
岡田ラーニング委員長、加藤国際奉仕委員長、山下会長エレクト、五大奉仕、ネパール水供給プロジェクト、ネパール視察報告と今後のビジョン説明よろしくお祈りいたします。
- ・前田 会員 本日は他用にて欠席致します。ネパール上水道の奉仕活動の卓話が聴けず残念ですが、活動の成功を祈っています。
- ・角井地区ローターアクト委員長 明日3月22日から23日にかけて、大阪・天王寺において全国ロー

ターアクト研修会が行われます。全国のロータリアン・ローターアクターと交流を図ると共に、大阪・関西万博の盛り上がり状況を確認してきます。行ってきます！

・寺田 会員 この度の人事異動で横須賀をはなれる事となりました。初めてのロータリーライフをこの横須賀RCで過ごせた事は大変貴重ですばらしい時間を過ごさせて頂きました。有難うございました。

・梶木、高橋、石田、角井、権田、竹株、三井、
吉田備、野坂、瀬戸、濱田、田邊、岡田夙、根岸 各会員

本日のタウンニュースに三浦学苑高校が神奈川衛生学園専門学校と高専連携に関する協定締結や岡田電機工業の廃プラスチック材再利用のテーブルホーキが神奈川県「かながわりサイクル製品」に認定されたニュースが掲載されています。会員の皆様のご活躍素晴らしいですね。

・木村、高橋、柴田、齋藤鞠、物井、比護 各会員

第97回選抜高等学校野球大会も始まりいよいよわくわくする季節がやってきましたね。外に出るのが気持ちの良い気候になりつつありますが、花粉対策も忘れずにしたいですね。

<卓 話>

第2回情報集会

◇五大奉仕全体の説明：「中期ビジョン⇒戦略⇒戦術⇒実行（PDCA サイクル）」について

岡田(英)ラーニング委員長

第2回の情報集会ということですが、1回目は今までやってきた中期ビジョンに対しての活動報告等をさせていただきましたので、今日は加藤国際奉仕委員長の途中経過の話と来年に向けての山下会長エレクトの話をお願いして、来年に向けて皆で頑張っていければと思います。

私が4年前に会長をさせていただいたときに、中期ビジョンを策定しました。ビジョンの重要性は、企業で例えるなら、「生産」って1年後、2年後どういう風にやっていきたいのか、生産しても「品質」はちゃんと保たないといけませんし、「開発」もしなければなりません。開発してもお金が足りなくなると困るので「財務」もちゃんとやらないとダメです。またどういうところに販売していくかの「営業」も重要です。やはり1年後どうなっていたいかとか、2年後、3年後、5年後どうなっていたいか、また人も育成しないといけないということを話すと、「なるほどね、それもロータリーにあると非常にいいよね」という話になりました。

どうことをやってきたかという、五大奉仕を切り口に、「クラブ奉仕」ではメールでの出席確認や会場入口でのQRコードによる出席登録を導入しましたが、これはデータが残るのでテーブルマスターとの出席状況確認等に非常に有用です。またZoomは、（今Zoomをやっているのは当クラブくらいだと思いますが）世界のどこからでも参加できる横須賀ロータリークラブというテーマでやりました。また、情報の共有はLINEも使いながらやっています。「職業奉仕」では横須賀学院の事業や会員個々の職業奉仕をやっています。「社会奉仕」では例えば1万メートルについてもいろいろな学生の方が参加しています。参加するとボランティア認定になるということもあるようです。他団体との連携は1ヶ月に1回ぐらいです。それと「国際奉仕」のネパールのプロジェクトについては後ほど加藤(淳)会員と山下会長エレクトから話があると思いますけども、VTT口唇口蓋裂に関するプロジェクトに関してはセブロータリークラブと交流が今も続いています。「青少年奉仕」についてはインターアクト、ローターアクト、米山、青少年交換等様々な事業があります。1年後、3年後、5年後にどうなっていたいか、と戦略・戦術・戦闘と書いてありますが、戦略を立てて、戦術はどうか、それで実行してみて、ダメだったら戦略を立て直していくという、そういうサイクルをやっていくことがビジョンを立てる意味だと思っています。



最後ですが、サイクルについてです。1月より来年度の体制の理事、非選理事会が開催されます。本日もこの後非選理事会が開催されるということです。その後、国際ロータリーの会長メッセージがあります。来年は良いことのために手を取り合おう (Unite for Good) というのがメッセージらしいです。それを受けて3月に地区で会長エレクトラーニングセミナーが実施され、4月には昨年我々が横須賀で実施した地区研修・協議会が実施され、その後5月には各委員会の計画を含む次年度のクラブ事業計画が立案される、と、このように進んでいきます。6月に世界大会があって、7月1日に山下年度が始まります。

この後、山下会長エレクトがどんな話をするか分かりませんが、ぜひ思いの丈を言っていただいて、皆さんと一緒に、これから横須賀ロータリークラブが安心できれば、と思います。

◇国際奉仕「ネパール水供給プロジェクト」の進捗状況について

加藤(淳)国際奉仕委員長

現在、グローバル補助金を申請中のネパールのナワルバラシのチャムガ村、カスワ村への安全な飲料水の給水プロジェクトに関する進捗状況についてご報告させていただきます。本プロジェクトにつきましては、高橋会長年度に、「新たな国際奉仕のテーマ」として2回にわたって皆様へご提案し、今年の1月にグローバル補助金の申請まで進めることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。本日はその進捗状況と今後の展望についてご説明させていただきます。



昨年の8月30日の例会において、4年間にわたって取り組んでまいりました中期ビジョン特別委員会の中から国際奉仕のテーマを考え、「ネパールでの安全な飲料水の給水プロジェクト」に着目し、その実現に向けて、様々な方とのプロジェクトを結成し進めてきましたが、今後はグローバル補助金が承認され工事に着手するなど本格的な取り組みが早ければ5月ぐらいにスタートするのではないかと睨んでおります。

申請した内容を改めてご説明させていただきますと、目的は、「清潔で安全な飲料水、衛生設備の提供」となります。チャムガ村、カスワ村の175世帯約962人と85人の生徒がいる小学校が対象となります。2つの村の人々は、水質の悪い水源まで水を汲みに行くことが日課になっていて、学校にはトイレはあるけれども水はないという状況です。村人は、20リットルの容器の水を約45分もかけて水源から自宅に運んでいて、乾季の時には更に遠い川岸の方に水を汲みに行くということで、なんと往復2時間もかかるという非常に厳しい環境下で暮らしています。その解決策として、ソーラーのハイブリッドのポンプシステムや、塩素系のシステムによる浄水ユニット、細かな機器の提供、特に学校には手洗いやパッドの自動販売機や廃棄システムなどを用意することとしています。費用は、全部で40,574USドル、日本円にしていただいた600万円ちょっととなります。申請にあたっては3つの効果の測定を記載しています。改善された飲料水源を使えるようになった人の数、また、管理監督を担う委員会を設けているコミュニティの数、下痢、赤痢、腸チフス等水系の感染症の減少数です。実施期間は5月から来年の4月末の1年間です。今後は、補助金が出て事業が終了したらそれで終わりということではなく、当クラブにはネパール出身のロクナト会員も在籍しておりますので、チトワンロータリークラブとの結びつきを絶やすことなく、継続的な相互協力で更なる奉仕活動に努めていきたいと考えております。

◇ネパール視察報告及び今後のビジョンについて

山下会長エレクト

それでは奉仕委員の山下として、まずネパール視察報告をさせていただきます。ネパールは連邦共和国で最大の都市はカトマンズです。農業を主たる産業とし、ヒマラヤ観光などの観光業も盛んで、後発途上国に分類されます。2008年に王政を廃止し、2015年9月に公布された憲法で7州による連邦制国家となりました。ネパールの名目GDPは2024年度で436億米ドル、日本のGDPは2024年度で約5兆ドルと推定されていますので、日本の約110分の1であり、イメージとしては70年ぐらい前の日本だという感じだそうです。

ネパールでは、ヒンドゥー教の影響下にあるカースト制度が生活に残っていて、カースト制度は1963年に憲法で廃止されていますが、上位と下位の間で格差が生じているようで、差別や隔離が問題となっています。生活用水の汲み取り場にも差別があり、カーストの下位の人たちは危険な遠い汲み取り場まで行かないといけないということもあります。このプロジェクトはそれも助けるという役目も担うものとなります。

次に会長エレクトとしての説明になります。ビジョンについてはすごく難しい問題なので、皆で一緒に考えていきたいと思っており、いろいろなテーマを出したいと思います。当クラブの中期ビジョンですが、私たちは地域社会や世界が変化する中、大切にしたいことを感じ取り、多くの人々と出会い、奉仕の輪を広げ、豊かな魅力ある社会を育てるということで、世界はどう変化していくんだろうとか、大切なことって何だろうとか、豊かな魅力ある社会って何だろうということを考えてきました。こういうものについてはニーズの汲み取りが必要だというふうに考えます。

2025-26年度の地区ポリシーは Have Fan Rotary ということで、ロータリーを楽しもうということですが。人を惹きつけるロータリーの魅力って何でしょう、ロータリーの楽しみって何でしょうということも考えないといけないと思います。2025-26年度の会長メッセージは、「よいことのために手を取りあおう (Unite for Good)」です。分断された世界において非常に力強い言葉です。分断の種をまくのは簡単、しかし共通点を見つけるのははるかに難しいと述べるカマルゴ氏は、「私たちは常に人の欠点を探しますが、人の才能を見つけるべきなんです」と話します。そこにロータリーの存在価値があり、ロータリーには地域社会や世界中の人々をつなげるための機会があります。私たちは人の欠点を見つけるんじゃなくて、いいところを見つけてそこを成長させていこうと、私も考えます。

みんなこれから地域のためにいろいろやっつけていこうというのを楽しみながら、皆さまと一緒に何か良いことができるように、地域社会のために、世界のために、皆さんと一緒にできればいいなと思って、次年度を考えて運営していきたいと思えます。



<閉会・点鐘> 13:30 高橋 会長

週報担当 三井 英夫